

# アートから見える社会

## 自分を変えるきっかけをつかもう

街中で見る銅像、女性のモデルばかりなのはどうして？  
美術館の作品の作家って、男性ばかりじゃない…？  
私たちの中に無意識に植え付けられている「男らしさ」「女らしさ」を、  
身近なアートから見直してみませんか。

ZOOM  
オンライン  
講座  
参加無料

- アートが好きな方
- 子どもたちにこれからの社会を自分らしく生きてほしいと考えている保護者の方
- 「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」について知りたい方
- キュレーターという仕事に興味がある方

### TOPIC

- ▷アートの視点から「アンコンシャス・バイアス」を考える
- ▷社会にあるジェンダー格差について知る
- ▷子どもが成長過程でかけられる「呪いの言葉」
- ▷アンコンシャス・バイアスから解放され、自分らしく生きるには
- ▷平等ではない社会、どう変える？どう生き抜く？

2021.1.31(日) 午前10時～12時

講師

荒木 夏実 氏  
(東京藝術大学准教授、キュレーター)

対象

どなたでも  
(申込多数の場合は文京区在住・在勤・在学者を優先します)

定員

約50人(申込順)

参加  
方法

「Zoom」(オンライン会議ツール)を使用します。  
「Zoom」への接続環境をご用意ください。

申込  
方法

12月10日(木)から1月22日(金)までに、  
電子申請からお申込みください。  
<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?id=1604648148475>



## 講師

荒木 夏実（あらかき なつみ）氏  
（東京藝術大学准教授／キュレーター）

慶應義塾大学文学部卒業、英国レスター大学ミュージアム・スタディーズ修了。三鷹市芸術文化振興財団（1994-2002）と森美術館（2003-2018）でキュレーターとして展覧会および教育プログラムの企画を行う。2018年より現職。「ゴー・ビトゥーンズ展：こどもを通して見る世界」（2014）で第26回倫雅美術奨励賞、第10回西洋美術振興財団学術賞受賞。現代美術と社会との関係に注目し、アートをわかりやすく紹介する活動を展開している。女性アーティスト11人による展覧会（2020）を東京藝術大学美術館陳列館で開催、女性のエンパワメントの可能性を追求している。



## 申込方法

12月10日（木）から**1月22日（金）**までに、電子申請からお申込みください。  
<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?id=1604648148475>  
申込ページのQRコードはこちら→



- オンライン会議システム「Zoom」を使用します。使用する端末1台ごとに1件のお申込みをお願いします。
- 複数人で1台の端末からの参加も可能です。この場合も、参加する方全員のお名前をお申込みください。
- 講座についての詳細は、区ホームページをご確認ください。  
<https://www.city.bunkyo.lg.jp/kusejoho/jinken/danjo/danjyosuisin/event.html>

区ホームページのQRコードはこちら→



## 必要なもの

- インターネット接続環境（wi-fi推奨）
- パソコン、タブレット、スマートフォン等の接続機器
- Zoomへの接続環境（タブレットまたはスマートフォンの場合は事前に「Zoom cloud meetings」という無料アプリをダウンロードしてください。）

## ●オンライン受講に当たってのQ & A

オンライン受講が初めてで不安です。	難しい操作は必要ありません。区から事前に参加の流れやテストURLをお送りします。ご不明な点等ございましたら担当までご相談ください。
本名を出したり顔を出したりしたくないです。	ご入室の際のお名前はニックネームで構いません。カメラもオフにしてお聞きいただけます。
参加しない家族が近くにいてもいいですか。	講義の間はマイクをオフにしますので、お子さま等がそばにいても構いません。聴講される方は、お名前のお申込みをいただくと幸いです。
サロン終了後に視聴することはできますか。	録音・録画はいたしません。参加者ご自身での録音・録画もご遠慮ください。